

見苦しい責任転嫁

疑惑を追及されると“全部人のせい”にする安倍首相。「桜」疑惑での言い訳は見苦しすぎます。

日本共産党

疑惑追及に

「国会では政策論争以外の話に多くの審議時間が割かれてしまった」。「桜を見る会」問題での安倍首相の発言(13日)。問題を追及する野党に責任があるかのような主張です。

しかし国政私物化、情報隠ぺいを行い、国会答弁でもウソとごまかしを繰り返すな

ど政策論争の土台を崩したのは首相自身です。

「桜を見る会」前夜祭の会費が安すぎると追及されると「ホテル側が設定した」。同会の参加者名簿廃棄では、「担当が障害雇用の短時間勤務職員」と個人情報まで持ち出して弁明しました。

「共同」調査 内閣不支持上回る

共同通信の世論調査で安倍内閣の支持率が11月の前回調査から6.0ポイントも急落し42.7%となり不支持率(43.0%、4.9ポイント増)が上回りました。10月の前々回調査比では11.4ポイントも暴落しました。あらゆる疑惑の説明から逃げ続ける安倍首相に国民が不信を持つた結果です。

安倍内閣支持率軒並み下落

	支持率	不支持率
共同通信 (12/4,5)	42.7% [6.0↓]	43.0% [4.9↑]
産経FNN (12/14,15)	43.2% [1.9↓]	40.3% [2.6↑]
読売新聞 (12/13~15)	48% [1↓]	40% [4↑]
NHK (12/6~8)	45% [2↓]	37% [2↑]
毎日新聞 (11/30~12/1)	42% [6↓]	35% [5↑]

※〔 〕内は前回調査比。()内は調査の日

議論すべきは「桜」疑惑

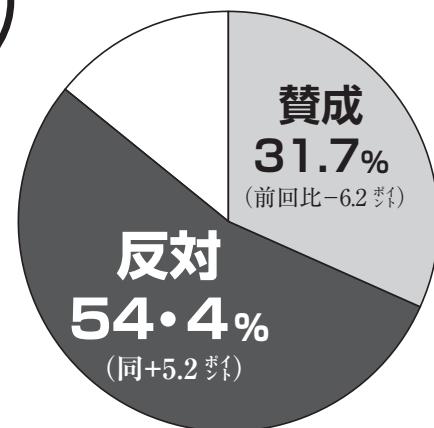
安倍改憲ノ リが国民の声

「憲法改正は、必ずや、私自身の手で成し遂げたい」。

改憲
でなく

安倍晋三首相は9日の国会閉会にあたっての記者会見で、改憲を強くアピール。自民党は、安倍首相の改憲メッセージDVDまで作成、国会議員や全国組織に配布するなど異常な執念です。

安倍政権下での改憲



4国会連続で自民案提示できず

首相は「来る通常国会の憲法審査会で、令和の時代にふさわしい憲法改正原案の策定を加速させたい」といいます。しかし、先の臨時国会冒頭に「憲法審査会を動かせ」と改憲の号令をかけたにもかかわらず、自民党は9条改憲を含む同党の改憲案を憲法審査会に提示できませんでした。昨

年の通常国会から4国会連続の見送りです。

世論は「安倍政権下での改憲NO」。国会で議論すべきなのは改憲ではなく、首相が説明から逃げ回る「桜を見る会」疑惑です。

日本共産党